



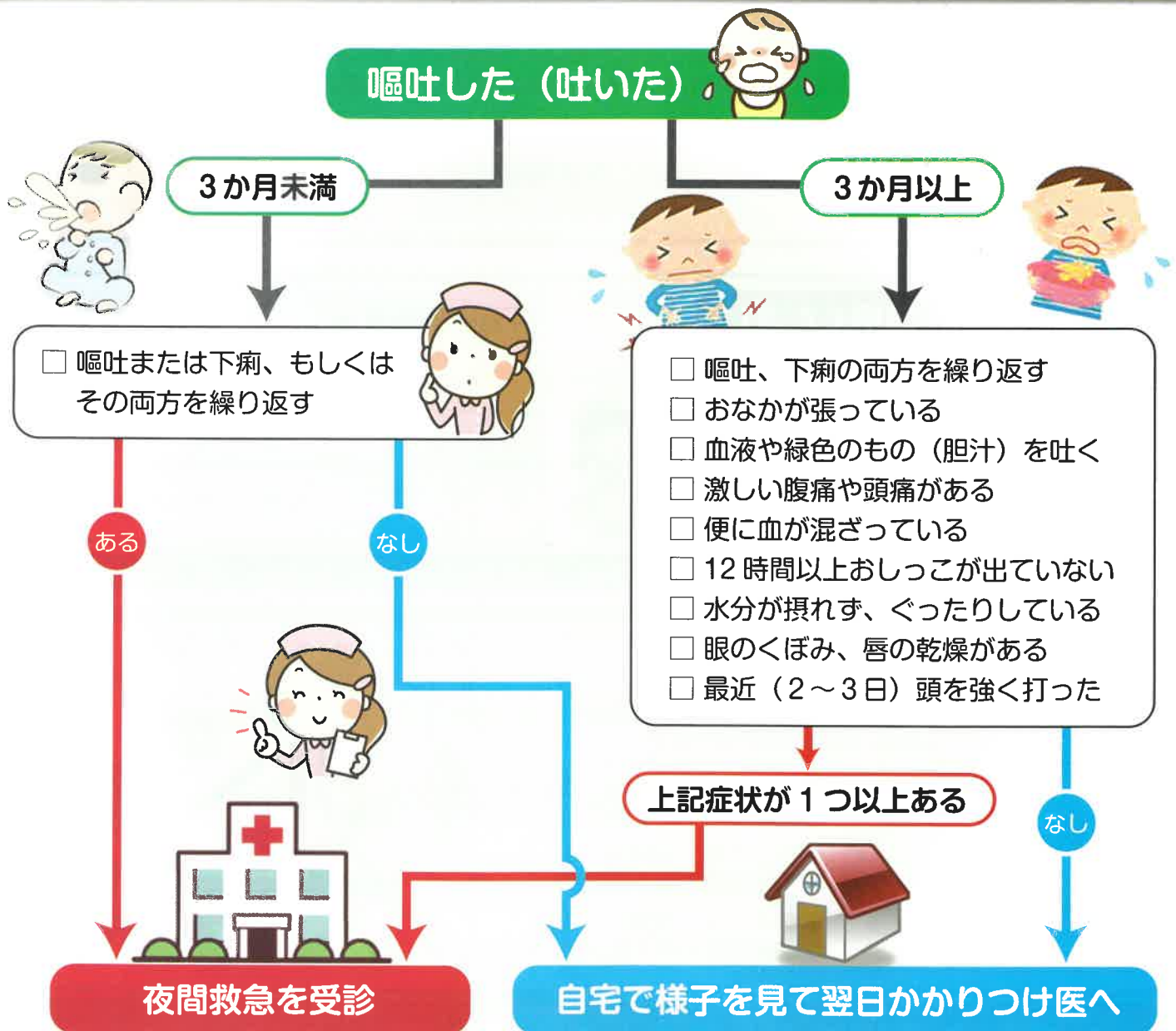
阪神北広域こども急病センター ニュースレター

平成 30年度 秋号

日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。

子どもたちは色とりどりの落ち葉やどんぐりを集めたり、虫探しに出かけたりと秋ならではの自然に触れていることでしょう。またこの時期は運動会や遠足など楽しい行事もたくさんあります。体調をしっかりと整えて、爽り多い秋にしましょう。

今回は「子どもの嘔吐」についてのお話です。「嘔吐」はよくある胃腸炎症状の一つですが、喘息や虫垂炎、髄膜炎などで起こることもあります。夜間受診に迷うときは、下記のフローチャートを参考にしましょう。



子どもが吐いた、こんな時どうすればいいの？



Q) 子どもが急に吐いたとき、まず何をすればいいの？

A) 吐いたもので喉をつめないよう、体を起こすか顔を横に向け、意識があるか、呼吸をしているか確認しましょう。その後、口の中をゆすいだり拭いたりしてきれいにし、汚れた服を着替えましょう。

Q) 脱水が心配、吐いた後すぐに飲ませても大丈夫？

A) 吐き気が強い間は何も飲ませず、おなかを休めてください。吐き気が治まれば、ペットボトルのキャップ1杯分くらいを目安に、5分～10分間隔であげましょう。水分補給は少量頻回がポイントです。

Q) 何を飲ませたらいいの？

A) 子どもが欲しがらるもので良いですが、脱水を予防するためには塩分や糖分を含んだ経口補水液や小児用イオン飲料がお勧めです。ただしオレンジやグレープフルーツなどの柑橘系ジュースや炭酸飲料は、嘔吐を誘発しやすいので控えましょう。母乳やミルクの場合は薄めずにそのまま飲ませてあげて構いません。ただしいつもより授乳時間を短めにして、回数を多くしましょう。

Q) 食べさせても大丈夫？

A) 吐き気が強い間は食べ物を控え、水分を中心に摂ってください。食べ物は水分を摂っても吐かなくなったら、お粥や軟らかく煮たうどんなど消化の良いものから始めましょう。

夜間休日、対処法がわからないときは電話相談をご利用ください



電話相談をご利用ください

◆阪神北広域こども急病センターでは、看護師による電話相談を行っています。

☎ 電話相談 ☎

072-770-9981



☎ 相談受付時間 ☎

平日	午後8:00～翌朝6:30
土曜日	午後3:00～翌朝6:30
日・祝日・年末年始 (12/29-1/3)	午前9:00～翌朝6:30

こどもの急病でお困りのときは、お気軽にご相談ください。

診療のご案内

診療科目	小児科 (15歳以下、中学生まで) ※原則、内科の診療となります	
診療受付時間	平日	午後7:30～翌朝6:30 診察開始は午後8時から
	土曜日	午後2:30～翌朝6:30 診察開始は午後3時から
	日・祝日・年末年始 (12/29-1/3)	午前8:30～翌朝6:30 診察開始は午前9時から

道路地図



阪神北広域こども急病センター

〒664-0015 伊丹市昆陽池2丁目10番地
http://www.hanshink-kodomoqq.jp/

TEL: 072-770-9988

FAX: 072-770-9905